

民泊協力会第1号設立！

『O・YADO民泊協力会』



O・YADO民泊協力会の皆さん

6月28日、鬼北町内で第1号となる民泊協力会が設立されました。その名も「O・YADO民泊協力会」。大宿（愛治地区）の方々が結成した民泊協力会です。

この日、地域行事である稲祈禱のため、白王神社に集まった大宿の人々。地域のほとんどの人が集まるこの貴重な機会に、民泊協力会設立の是非が問われ、「やっぱ大宿がやらないかんやろ」その思い一つで、全会一致での民泊協力会設立となりま

した。

これまでにも民泊協力会設立の提案から始まり、国体推進室による説明会など何度か協議を重ねてきた大宿の人たち。「みんな協力してやらないかんわいな」「できることがあつたら言うて」設立決定後、その場にいた人たちからは力強い言葉が発せられました。

町内で必要となる民泊協力会の数は「24」。まだまだ多くの方の協力が必要です。ぜひ皆さんご協力をお願いいたします。

地域が一体となって
選手のために
鬼北町のために…

O・YADO民泊協力会会長
兵頭 弘
ひょうどう ひろし



「鬼北町は国体で民泊を行う」そう聞いたときから、「大宿地区で民泊をやりたい」と思っていました。誰かが名乗りをあげないといけないな…。正直なところは、初めてのことで今でも不安だらけです。しかし、「大宿地区をあげて、選手を気持ちよく迎え入れたい」、その思いでこの不安を乗り越えていきたいと思っています。

大会に出場する選手の

皆さんが実力を発揮できるように、何事もなく大会を終えることができるようサポートすること、それが地域の役目だと考えています。縁あって大宿に民泊する選手ですから、精一杯応援したいですね。

えひめ国体、そして民泊は、今回を逃すとこれから先経験できるかできないかの貴重な機会。ぜひ他の地域の皆さんも協力して、一緒に頑張りたい。

民泊協力会第2号「鬼北の里民泊協力会」設立！

7月1日、第2号となる「鬼北の里民泊協力会」が設立されました。

若年層の世帯が中心となつて、鬼北の里（近永地区）で設立された本協力会。会長の薬師寺司氏は、「鬼北の里はまだ新しい地域。うちがやらないといけないという使命感を持って取り組んでいきたい」とその意気込みを語っていました。